



# 広報 かわにし

発行/川西町役場 編集/企画室 定価/1部5円 印刷/白南風社

人口の動き	
9月1日現在	
男	5.956(+15)
女	6.103(+9)
計	12.059(+24)
世帯数	2.592(+4)
( )内は前月との比較	



## 夏のなごり

山頂の涼を思いながら、トッ、トッ、トッと坂道を登った日の山の感触。スカイラインさながらに、ため息とともに車で、一気にカーブを駆けぬけた時の空気の振動。

弁当を開いて、みんなでおかずを交換しながら、ほほに、さわやかな風をあてつつ味わった、ことしの夏。  
(節黒城で遊ぶ、下平新田のよい子とおかあさんたち、8月末写す。)

## 行事

- 九月
- 健康体操普及月間(一)三十日。がん征圧月間(一)十月三十一日)
  - 十二日 赤岩校区若夫婦学級
  - 十三日 郡内町村役場対抗卓球大会・中里村役場で。
  - 十五日 敬老の日。老人福祉週間
  - (二十一日まで)。白倉小中学校運動会。
  - 十九日 郡市社教振興会婦人教育部会・農業センターで。
  - 二十日 動物愛護週間はじまる。
  - 二十三日 秋分の日
  - 十月
  - 一日 赤い羽根共同募金はじまる
  - 十日 町民体育祭 川西中学校で

## 町政コーナー

丹精こめて育てあげた稲がみごとに実り、いつしか収穫の時期となった。この時期はまた台風シーズンでもある。さきがけとして八月二十九日県内を縦断した台風十号は、幸いにして被害軽微で済んだが、今後ともお手下わらかに願いたいもの。

酷暑が峠を越すと、早くも冬将軍の準備が始まる。その一つとして、町が申請中であつた雪上車について八月八日県から貸付内示の通知があつた。型式はKC四〇の十人乗り、二、八トン。主として仙田地区の道踏み急床輸送、往診等に使用される予定。町ではさっそく雪上車の先進地入広瀬村その他に職員を派遣してその運用状況を調査し受入れ態勢に万全を期している。

仙田地区開発促進委員会については、県当局に県単山村振興事業指定の陳情を行なうとともに、八月十二日につづいて二十七日と通算五回の会議を重ねて

熱心に検討がつづけられた。その結果、この辺で一応審議結果を整理することとなり、口下企画室で取りまとめを急いでいる。

なお、町の総合開発計画については、九月定例議会で審議会条例が成立したので、近く委員を委嘱して発足の予定である。委員の定数は四十人で、これを部門別に五つの部会に分け、部会中心に運営される。

九月定例町議会は、七日に招集され、総合開発計画審議会関係条例のほか、教育委員・監査委員・損害評価会委員の選任同意、一般会計補正予算等計十件が審議決定された。その結果教育委員には小林誠治氏、監査委員には蔵品茂雄氏が再選された。一般会計補正予算は、総額百七十九万三千円という小規模なもので、国県費補助の決定に伴う追加や緊急やむを得ない経費を計上したもの。なお、この議会で一議員定数に関する調査特別委員会が設置され、継続審査により議員定数減の問題について検討することとなった。

# 赤い羽根共同募金

## 近く戸別にお願ひ

赤い羽根で親しまれている共同募金運動が、本年も十月一日から十二月三十一日までの三カ月間にわたって全国的に展開されます。この国民たすけあい共同募金運動も数えて二十二年目、みなさんから募った浄財は、いったん県共同募金会に納めたあと、そのほとんどが町と、町社会福祉協議会になんらかのかたちで配分され、地域の福祉向上に役立っています。ひとくちに共同募金といっても一般募金、歳末たすけあい(地域とNHKのふたつ)、お年玉葉書寄付金配分のほか、競輪益金配分まで含まれ、毎年、直接みなさんにお願ひしているのは、このうちの一般募金というわけです。

募金方法は、特にご理解をいただいて戸別募金ということで、十月中にとりまとめておりました。ことしも、いまのところ県全体

### 日常生活に密接な募金の使途

募金の必要性は間口がたんだん広がり、ことしの募金の重点配分計画では、新しい行政上の需要ともいえる事故防止のための子ども遊び場設置をはじめ、身体に欠陥のある人たちの施設施設の充実や、生活に困っている人、孤獨な老人、恵まれない母子家庭、からだの不自由な人、長いこと病気で苦しんでいる人々に「助け合い」の手をさしのべることになっていきます。

そのほか、わたしたちの住んで

## 議会の動き 8月

一、三日 正副議長、事務局長 県外視察。

九日 第四回臨時議会

△審議内容▽

①承認事項

◇新潟県交通災害共済組合設立に必要な事項の専決処分(原案どおり承認)

②議決事項

◇川西町印鑑条例の全文を改正する条例の制定(原案どおり可決)

◇川西町有公舎居宅料条例の一部を改正する条例の制定(原案どおり可決)

◇新潟県中魚沼郡川西町使用料条例の一部を改正する条例の制定(原案どおり可決)

◇川西町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定(原案どおり可決)

◇川西町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定(原案どおり可決)

成人病の第一に高血圧症等、循環器系の病気があげられていますが、その次が「ガン」で、発見したときすでに手おくれ、余命も限定されてしまいます。対策は早期診断、早期治療がいちばんで、年に一度は、かならず胃検

### 受けよう秋の胃検

の必要があります。秋の胃検の期日は十月二十一日から二十六日まで。検査申し込みを回覧によつて受けつけます。料金は六百円ですが、二百円の補助がついて本人負担は四百円。四十才以上のかたが、特に要注意です。

いる町を明るく住みよくするため子ども会や老人クラブ等各種団体育成費としても使用いたします。薄幸の人びとに対して善意のともしびをともしあげよう、明るく社会を建設しようという運動の趣旨をご理解いただいて、募金封筒がとどきましたら、これまでに上のご協力をお願いいたします。

### 福祉年金を

#### 受けているかたに

今月六日から福祉年金の支払いが始まっています。

◇負担付き寄付の受納について(原案どおり可決)——川西中学校理科教育設備充実のための国庫補助事業のうち、町費負担分の二十万八千円を同校PTAから寄付申し入れがあったもの

◇昭和四十三年度川西町一般会計補正予算(原案どおり可決)

——歳入歳出とも九百二十一万円の追加で、これによつて一般会計の予算規模は二億八千六百二十万二千円となった。補正の

### 愛の血液 助け合い運動

九月一日〜三十日

献血については、輸血に要する保存血液のほとんどを売血に頼っていた以前と異なり、血液問題正常化の声につれて国民の認識が高まり、理解が深まるにつれて、必要な保存血液の約八十パーセント

約半分は教育費で四百三十四万九千円、そのうち二百万円は中学校理科教育設備充実のための

◇昭和四十三年度川西町農業共済事業特別会計補正予算(原案どおり可決) ほか一件。

③食糧管理制度の堅持に関する決議(原案どおり可決)

④請願

◇町道田戸、藤沢線の田戸地内改修工事に関する請願(継続審査)

が献血によつて確保されるまでになりました。現に、移動採血車ゆうあい号来町のために多数のかたがたから協力いただいたので、川西町でもかなりの成果をあげています。

助け合い運動の目標は、必要血液の百パーセントを献血によつて確保し、医療の万全を期する体制を確保することにあります。ただいま、町内に心臓手術を要する三人の子どもさんがいて、手術にはたくさんのお血が必要ですから、いずれの親御さんも八方手をつくして心配しておられます。献血、血液型の検査と一連の行為が隣近所の人助けにもつながることでしょう。

### たばこは町内で 買いましょう

◇赤谷(き地保育所建設に関する請願(継続審査))

◇中ノ島農道開さくに関する請願(採択)

◇北田(き地保育所玄関改築に関する請願(継続審査))

十七日 土木厚生委員会

二十六日 町村自治振興促進協議会(新潟市で)に議長出席。二十七日 正副議長、事務局長 同研修会(新潟市で)



あ たり色こく秋のあし音を近づいたことを感じます。さわやかな初秋と言いたく

ろですが、どっこい、秋の長雨と、それに符ちようを合わせるように台風がやってきました。そして、ことしもはや秋の農繁期、お天気と相談づくの多忙な毎日がつづきます。日すぎになれば、ほつほつ衣替えの用意といったところでしょうか。夜はぐつと気温が下がるので、外出して夜おそくなると予想されるときは、必ず、何か一枚ぐらいい用意して出かけるのが肝要。一夜道はからだに毒。

食 べもの季節とはいいいながら、大衆魚さんまが豊漁にもかかわらず高値とか。いままでの暑さで、からだに疲れていますから、ます、ビタミン類——野菜やくだもの——をたくさん食べてください。主婦のみさんには、農繁期の栄養食づくりを期待します。

これから夜が長くなり、テレビや読書の時間が増加しますが、六、八畳ぐらいの室では、百ルククス六十ワット程度の電球は使いたくありません。読書や夜なべ仕事で一時間は目を休ませてください。

# 行政相談は

## あなたの苦情を処理します

### 来月三カ所で相談所開設

行政の民主化ということは、言いかえれば、国民のための政治が行なわれるというところでしよう。しかし、それにもかかわらず行政上の困難が生じたり、行き届かないことができて、それが住民の苦情となり、また知らないがままに不当な処理に苦しんだり泣き寝入りしたりすることが起きやすいのも事実です。

国は、行政上の監察を行なって行政の不適正を是正してゆきますが、さらに、一般住民の身近な苦情に親しく接してこれを解決し、真に住民のための行政を行なう必要があり、その有力な手として登場したのが行政相談委員制度です。

#### 行政相談委員は

##### 太田長栄さん

行政相談委員による苦情処理のための行政相談業務が開始されたのが昭和三十六年のこと。その後昭和四十一年には行政相談委員法（法律第九十九号）が制定され、委員の処理権限が拡大されました。

いまでは、全国の処理件数十万件、そのうちの八割が行政相談委員の手によって処理されているといわれます。

この行政に関する苦情の解決の促進に資する目的で、県の行政監察局の管理下に市町村の行政相談区域を定め、相談委員を任命しているわけです。

委員は、その区域の住民の行政上の苦情相談に応じ、必要によっては関係行政機関と折衝してその処理を行ない、行政監察局に報告して行政上の処置をもちこたわります。

川西町では、中央町の太田長栄さんが委員に委嘱されて活躍中ですが、行政上の問題については、直接自宅を訪問されても、電話でも手紙でもよいし、気軽に太田さんまで申し出て下さい。

#### 相談の秘密は守られます

内容も民事、刑事事案のほかは恩給・年金、生活保護、教育、登記、道路河川、衛生公害、社会保険、税金、農地、郵政、鉄道等や許認可の問題など、すべて無料で相談に応じています。

また、相談事項の秘密は守られ、その結果は申出人に通知されません。

国では、この行政相談は国民の生活に密着したものであり、直接国民の声を聞いて行政の民主化と能率化に役立てる重要な仕事として、毎年この強調週間を設けて活動の活発化をはかってきました。



ことしは十月十四日から二十日までを行政相談週間として処理業務の推進にあたります。

町ではこの期間中を利用して十月十四日午後一時から……

#### 橋 出張所

十五日午後一時から……

#### 仙田出張所

十八日午後一時から……

#### 川西町役場

以上の計画で行政相談を行ないます。どうぞ、気軽に相談にお出かけください。

### 野犬二掃運動

九月一日～三十日

野犬、放し飼いだによるかみ傷事故や、農作物、家畜などの被害は、大気汚染、騒音とは別の意味

の生活環境上の公害といふことができます。

#### 運動月間中の目標

① 犬のけい留の励行

② 野犬の捕獲

③ 不用犬の引き取り

この目標励行はもろろんのこと大の飼育について、正しい知識の普及と道徳心の高揚が望まれます。

#### 正しい犬の飼い方

- 登録……必ず役場で登録し登録済みの鑑札を首輪につける
- 予防注射……毎年二回、春と秋に狂犬病予防注射をうけ、注射済みの票を首輪につける。
- 飼犬……イ、放浪癖をつけないため、いつもオリに入れるかケサリでつないでおく。
- ③ 地元直営工事。

### 建設工事

#### 入札結果

- ①は工事量、②は工事請負額
- ③は請負業者名) ※ 高倉、小脇線道路改良……高倉 ①二百四十メートル、②五十四万八千円、③吉染土建。
- ※ 坪山下小路道路改良①九十メートル、②三十三万円(はかに用地物件費十六万五千円)、③吉染土建。
- ※ 友重線道路舗装 ①二百九十八メートル、②五十九万円、③羽鳥建設。
- ※ 高倉、小脇線道路改良……小脇 ①七百三十メートル、②四十万円

#### 剣道クラブも 結成準備中

少年剣道教室の盛況と同時に、町に剣道クラブを作る計画が、前述の星名さんたちの手ですすめられています。

### 少年剣道教室で 張り切るよい子等

よそだけでなく、川西町にも少年剣道教室が七月に誕生し、土曜と日曜をのぞいて、毎日午後五時から一時間練習に励んでいます。

(写真)

とくに、月曜と金曜のふつかは午後六時から十日町市民

### 広報スケット

民体育祭のさい、デモンストラーションとして参加者全員に、どしどしお申し越しねが

口、つれて歩くときは、飼主の脚側を歩くようにしつける。

### 南十字星の下

## 元気で希望にもえて

### ブラジル移民町出身者

日本とブラジル両国間で移住協定が結ばれたのは昭和三十五年十一月、川西町ではこの時期に前後して、岩瀬の金子国栄さんと塩辛の藤巻秀里さん一家が渡伯し、ブラジルへの道が一段と近くなったことを感じさせました。ブラジル在留日系人は約五十万といわれていますが、現地人はもとより多くの民族が入り交じった異郷での生活はさぞ苦労が多いものと想像されます。「広報かわにし」ではこれまででもブラジル通信を掲載するなどしてその実状を紹介してきましたが、久しぶりにブラジルにまつわる話題をごひろうしてみます。

### 現地視察に

#### 塩辛の牛乳やさん

塩辛の藤巻牧場の主人藤巻藤松(七十才)さんは、日本海外移住

家族連合会の第五次中南米現地視察団の一員として、九月二日横浜出航の「ぶらじる丸」で、長男秀里さん一家を訪問する旅にたった。秀里さん一家が渡伯したのは三十七年一月のこと。その後、サンパウロのコーヒー園で働きながら現地の農業経営を学び、現在はサントス市郊外で農業を自営、最近では果樹、野菜栽培を中心に生活も安定している様子。



「秀里の家族はそろって元気に暮らしている。はじめて会う孫た

ちの顔を見るのも楽しみだし、こんどの営農について相談もしてみたい。とくに酪農には関心をもっている。また、川西町出身のかたがたにはどんなに遠くてもとんでいって面会し激励してくるつもりだ。県内各地のみならずからの依頼もあるのだ。これもできるだけ消息をたずね、激励していきたい。」



しめるいとまもなく旅行団に合流されたそうであるが、日やけして元気な顔が印象的な丸山さんである。近況

### 金子国栄さんの近況

#### 「たよりから」

みなさんのお元気な様子を知り喜んでます。手紙と写真と、それに日本の記念切手を沢山ありがとうございました。最近はおぶさたばかり、年ごとに疎遠がちになつてゆくように申しわけありません。どうか、僕のことを案じていてくださる方がたに、国栄が元気であることをお伝えください。早いもので、僕がブラジルに来たからもう十年近くなりました。それなのに、自分の家を建てたこと以外はまだまだこれという物質的なものが残りません。でも、働きながら自分の好きな勉強をし、さまざまな国の人を知り、ことはおぼえ、多くの友人を得、理想

### 十二年ぶりの里帰り

#### 丸山静男さん

昭和三十一年に一家六人で渡伯した丸山静男さん(根深の出身)が、さる八月十二日ひょっこりとして、役場を訪れ、町長、助役や居あわせた旧知の丸山敬一さんらと歓談した。(写真右下、中央が丸山静男さん)

丸山さんは、開拓団で渡伯し、戦後引き揚げてから一時常盤炭鉱で働いていた。町村合併直前の三十二年六月に福島県のあつせん一家六人して渡伯、コーヒー栽培

### 戸籍の窓から

#### うぶ声—おすこやかに

- 中村 久志 武男長男 坪山
- 小林百合子 可生二女 元町
- 丸山 義則 三郎二男 新町新田
- 高橋 弘雄 俊男長男 高倉
- 榎間 崇 公男長男 伊友
- 茂野 智 政栄二男 藤澤
- 小林 清人 晃 長男 中屋敷
- 数藤 和明 孝二二男 沖立

#### たかさ—ご円満に

- ◎新郎 江口 恒夫 小白倉
- ◎新婦 中島せつ子 東京都から
- 昇天—ごめい福を祈る
- 中條 與作 岩瀬 六八
- 高橋 セイ 伊友 七〇
- 小林 ハマ 中仙田 七〇
- 後藤リヤウ 野口 八二

### 果実酒

果実等を原料にした酒類のうち、飲用として家庭でつくつてよいのは、梅、みかん、すもも、かりん、いちご、りんご、くわ、くわ、またたび、とち、さるなし、ぐみ、およびアルコール分二十度以上の酒(しょうちゅう)等を原料として発酵させないものに限りません。これ以外は法律上許されていません。

### かわにし俳壇

- 大倉 金子洋石
- 秋葉しほもつれつ高窓へ
- 叩くともなく秋の蚊を見逃がせり
- 叩く気もないそんな弱々しい秋の蚊、見逃せりに秋蚊に対する哀みと心の哀愁がある。
- 松風園 南雲 文峯
- みんみの声のしづかに秋立ちぬ
- 風鈴の音のどこかに夕涼み
- 小白倉 江口 凡石
- 大きな日まわり活けて大広間
- 大壺に活けた向日葵、大壺間は
- 会蔵か温泉宿か、外は燦々と日が
- 当る。他に何も言わないのが良い
- 新潟療養所 片桐 香坊
- 国道の横断を待ち稲車

